

非加熱血液凝固因子製剤による HIV 感染血友病等患者の長期療養体制の構築に関する患者参加型研究

研究分担者

茂呂 寛 新潟大学医歯学総合病院 感染管理部 准教授

研究要旨

日本海側の地方都市における長期療養体制の構築に向け、県内医療体制の見直しと、関連職員を対象とした教育・啓発の実践を図った。県内医療機関を対象とした研修会を WEB 経由で開催したところ、佐渡など直接の訪問が困難な地域からも参加があり、面積が広い新潟県において有用な方法と考えられた。合わせて、既存の県内ネットワークである新潟医療関連感染制御コンソーシアムの枠組みを、HIV 診療においても活用するなど、引き続き医療体制の構築に取り組んでいく。

A. 研究目的

地方都市における長期療養体制の構築に向け、高齢となった患者を受け入れる環境の整備が重要な課題と考えられた。この解決に向け、本研究では、新潟県内における受け入れ施設の拡充のため、県内医療体制の見直しと、関連職員を対象とした教育・啓発の実践を立案した。本研究の成果として、患者および家族の高齢化への対応が、地域で円滑に進むことが期待される。

B. 研究方法

新潟県内の医療機関を対象に、HIV 感染症の基礎知識定着を図るため、研修会を開催する。また、「新潟医療関連感染制御コンソーシアム」のネットワークを介し、介護施設等に感染対策の研修を行う。
(倫理面への配慮)

アンケート調査の実施、臨床研究、講演会や検討会での症例提示にあたり、匿名化を徹底するなど、個人情報の保護に十分な配慮を行った。

C. 研究結果

研修会については、新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえ、WEB での開催形式をとり、事前に希望のあった医療機関に対して、医師と看護師の講演を 1 セットとし、同内容のものを 2 回配信した。今回は計 7 施設より視聴があり、これらの施設における HIV 感染症の知識定着により、HIV 感染症に

対する意識の変化と、今後の受け入れが円滑に進む効果が期待できる。

また、「新潟医療関連感染制御コンソーシアム」のネットワークを介し、希望のあった介護施設に対して、新型コロナウイルス感染症を中心とする感染対策の指導を実施したが、今回は 32 施設が参加した。さらにクラスターが発生した 6 施設についても、立ち入りでの助言と指導を実施した

D. 考察

新潟県は、高齢者の人口比が高く、もともと非 HIV 症例に対しても、高齢化対策が急務な背景がある。また県の面積が広く、さらに冬場は降雪により交通が困難になる、一定の人口を持つ離島が存在する、等の特徴があり、各医療圏の拠点病院を中心に個別の事案に対応していく体制が望ましい。コロナ渦の中で、研修会は WEB ベースで実施したが、直接の訪問が困難であった佐渡地域から 2 施設の参加があり、WEB 研修会のメリットが確認された。

E. 結論

この度のコロナ渦にあって、各医療機関では対応に追われる中、かつて無い規模で感染対策に対する意識が高まっており、この機会に HIV 感染症についても知識の啓発を進めることで、長期療養時代に対応可能な、地域における環境整備に向けて、将来の財産となることが期待される。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

1. Yuuki Bamba, Kei Nagano, Hiroshi Moro, Hideyuki Ogata, Mariko Hakamata, Satoshi Shibata, Takeshi Koizumi, Nobumasa Aoki, Yasuyoshi Ohshima, Satoshi Watanabe, Takeshi Nakamura, Sugako Kobayashi, Yoshiki Hoshiyama, Toshiyuki Koya, Toshinori Takada, Toshiaki Kikuchi, Efficacy of the new β -D-glucan measurement kit for diagnosing invasive fungal infections, as compared with that of four conventional kits, PLOS ONE 16(8) e0255172, 2021
2. Kei Nagano, Satoshi Kawasaki, Hiroshi Moro, Bin Chang, Yuuki Bamba, Ayako Yamamoto, Masatomo Morita, Makoto Ohnishi, Satoshi Shibata, Takeshi Koizumi, Nobumasa Aoki, Yasuo Honma, Tetsuya Abe, Toshiyuki Koya, Nobuki Aoki, Toshiaki Kikuchi, An outbreak of serotype 19A pneumococcal pneumonia in a relief facility in Japan, Infection Control & Hospital Epidemiology Jul 30 1-3, 2021
3. 中川 雄真, 茂呂 寛, 川口 玲, 内山 正子, 新保 明日香, 三枝 祐美, 野田 順子, 鈴木 啓記, 柴田 怜, 張 仁美, 佐藤 瑞穂, 菊地 利明, 医療従事者の HIV 感染者受け入れへの不安 HIV 出張研修アンケートからの検討, 日本エイズ学会誌 23 巻 3 号 113-121, 2021

2. 学会発表

1. 青木志門、小泉健、阿部静太郎、袴田真理子、永野啓、柴田怜、青木信将、茂呂寛、小屋俊之、菊地利明. 当施設における肺非結核性抗酸菌症の状況～治療の状況を中心に～. 第118回日本内科学会総会・講演会, 東京, 4月, 2021.

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし